

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	<a href="http://www.tr.mufg.jp/">http://www.tr.mufg.jp/</a>
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.nozawa-kobe.co.jp">http://www.nozawa-kobe.co.jp</a> 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

### 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満 株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、 住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

### 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。  
証券会社に口座を開いていただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

■ この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。



株主のみなさまへ

## 第155期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



証券コード：5237

# 特集 「やすらぎと安心の創造」

日本各地に伸びる新幹線網。街の玄関口となるターミナル駅の新たな魅力の創造にアスロックが活躍しています。

平成27年3月、北陸新幹線の全ターミナル駅にアスロックが登場いたしました。

平成28年3月には、北海道初となる新幹線ターミナル駅にもアスロックがお目見えします。



▲金沢駅 アスロック900  
アスロック600  
カラーフロン

## 九州新幹線



▲新鳥栖駅 アスロック900  
ニューカラーリード  
ナチュラル  
PHOTO：エスエス九州

## 北陸新幹線



## 北海道新幹線



▲新青森駅 アスロック600  
タスロック900

●：ターミナル駅にアスロックが採用されています。

# ノザワの 新提案 (平成26年4月～平成27年3月)

当社グループは「やすらぎと安心の創造」の企業理念のもと、高付加価値商品、環境負荷低減、施工現場省力化など、顧客ニーズに対応した商品群を拡充しております。

日射反射機能を付加した  
新デザインパネル  
「レフスカイミニ」

平成26年5月発売

現場省力化に貢献！  
「ニューセフティ縦張り工法  
ノンスリットタイプ」

平成26年5月発売

グリッドデザインシリーズ  
新デザイン  
「ランディルB」

平成26年10月発売

4種のリブ幅を  
混成配置した新デザイン  
「クアトロライン」

平成26年10月発売

屋上目隠し壁  
専用パネル  
「アスロックタフ」

平成26年10月発売

アスロック  
レールファスナー工法  
ルーバー仕様

平成26年12月発売



## クローズアップ 業界初LS工法、採用件数大幅増

平成26年3月に発売いたしました業界初のLS工法は、深刻な社会問題となっている職人不足の緩和策として、施工現場での高い評価をいただき、リピートオーダーも増え、大幅に採用件数を伸ばしております。

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第155期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により個人消費の回復に遅れがあるものの、企業業績及び雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。このような情勢のなかでの当期の取り組みと業績概況、今後の方針についてご説明申し上げます。

平成27年6月



代表取締役社長 野澤 俊也

### 当期の取り組みと成果

#### 積極的な提案営業、生産性の向上、製造原価低減並びに経費削減の実施により4期連続増収増益達成

建築材料業界におきましては、建設費高騰による建設計画の延期・中止、住宅投資における消費増税の反動減並びに円安による輸入価格の上昇等、厳しい経営環境が続くなか、公共投資・民間設備投資は堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは「やすらぎと安心の創造」の企業理念のもと、高付加価値商品、環境負荷低減、施工現場省力化等、顧客ニーズに対応した商品群の拡充を図ってまいりました。押出成形セメント板「アスロック」の独自型付け製法による「グリッドデザインシリーズ」(2014年度グッドデザイン賞受賞)の新デザインとして、ランダムに配置したモザイクタイルをイメージした「ランディルB」を発売致しました。また、「デザインパネル」の新商品として4種のリブを混成配置した「クアトロライン」を発売。過酷な環境にさらされる屋上目隠し壁専用に開発・発売した「アスロックタフ」は、落下防止ワイヤー内蔵による2次

安全機構を標準装備しており、年々増加する暴風雨等の異常気象へも安心してご利用頂けます。工法においては、安全性が評価され、オフィスビルやホテル・学校等様々な用途の建物にご採用頂いております「アスロックレールファスナー工法」のラインナップに、ルーバー仕様を追加。「アスロック」でしか表現できない「表面平滑性」と「重厚感」が、ルーバーの意匠性を一層際立たせ、これまでにない壁面デザインを構成することが可能となりました。

販売部門では、これらの豊富な商品ラインナップにより、積極的な提案営業を実施、一般建築向け「アスロック」の商談数量を増やすとともに、品質・機能・コストに評価を頂き、「デザインパネル」・「カラー品」・「ナチュラル」の販売数量を伸ばしました。また、技能工不足・工期短縮に貢献できる業界初の省力化工法「アスロックLS工法(Labor Saving工法)」において、施工現場での作業省力化に高い評価を頂き、発売以来着実に採用件数を伸ばしております。

生産部門では、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、生産性を高め、販売数量の増加に対応致しました。

管理部門では、基準工程表に基づいた業務遂行により、グループ

全体の業務効率アップに繋がるとともに、有利子負債を圧縮、財務体質改善に取り組みました。

海外事業につきましては、中国建設市場の低迷のなか、商談数量増加の為「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」と「野澤貿易(上海)有限公司」が一体となって、瀋陽地区での営業活動に努めましたが、中国経済の回復の遅れから厳しい状況で推移しました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、138億80百万円(前期比11.4%増加)、住宅用軽量外壁材は21億96百万円(前期比18.1%減少)、となり押出成形セメント製品合計では160億76百万円(前期比6.2%増加)、スレート関連は、9億60百万円(前期比13.5%減少)、耐火被覆等は、12億62百万円(前期比10.1%減少)となったこと等から、当連結会計年度の売上高は209億64百万円(前期比3.8%増加)となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上、製造原価低減並びに経費削減に努めました結果、連結業績における営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高となりました。営業利益は25億88百万円(前期比18.0%増加)、経常利益は26億17百万円(前期比17.3%増加)、当期純利益は、17億円(前期比98.0%増加)となり、4期連続の増収増益を達成致しました。

なお、平成26年8月26日、自己株式立会外買付取引により514,000株(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合2.2%)の自己株式を取得しました。

### 来期の見通し

#### 三大戦略の確実な遂行とお客様満足度向上、更なる企業発展により5期連続増収増益をめざします。

今後の経済の見通しにつきましては、緩やかな回復基調が見込まれるものの、建設費高騰による建設投資計画の見直しや見送りに加え、住宅市場での駆け込み需要の反動からの回復遅れ並びに円安による輸入価格の上昇等、先行き不透明な状況が続くものと思われま

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・飛躍成長の各戦略の確実な遂行とお客様満足度向上により、更なる企業発展を推進してまいります。

販売部門では、建設需要の拡大により今後ますます顕著となる、技能工不足並びに工期遅延への対策として、施工の省力化・工期短縮が可能となる「アスロックLS工法」・「工場プレ加工」・「グリッドデザインシリーズ」の販売に注力し、受注数量をさらに伸ばしてまいります。また、カタログやホームページの写真でしかご覧頂けない「アスロック」の実大サンプルを、「見て」・「触れて」頂きたい、本社1Fに「アスロックショールーム」を開設致しました。

生産部門では、NNPS改善活動により各工程の整列化を図り、更なる生産性のアップ・品質向上に努めるとともに、コスト削減に繋げてまいります。

開発部門では、顧客が求める品質・性能・コストを追求し、環境負荷低減・施工の省力化に貢献できる商品並びに安全性・快適性に優れた商品を拡充してまいります。

管理部門では、システム構築・改善による業務効率の向上を図るとともに、有利子負債の圧縮をさらに進め、財務体質及び経営基盤の強化を図ってまいります。

マインケミカル事業では、顧客ニーズに対応した付加価値商品の営業を展開、用法開発及び施肥技術サービスの提供により、販路の拡大に取り組むとともに、販売数量の増加に繋げてまいります。

海外事業では、「野澤貿易(上海)有限公司」において、大手建築設計院・ゼネコン及び建築主へのPR活動に加え、代理店の育成を推進し拡販に繋がるとともに、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」においても、営業エリアを広げ受注数量拡大へ取り組んでまいります。

これらの積極的な事業展開により、平成28年3月期の連結業績は、売上高211億50百万円、営業利益27億50百万円、経常利益27億20百万円、親会社株式に帰属する当期純利益18億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 平成27年3月31日現在	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在
<b>▶ 資産の部</b>		
流動資産	9,186,374	9,165,948
現金及び預金	3,116,407	3,545,930
受取手形及び売掛金	4,144,884	3,802,259
たな卸資産	766,353	796,497
その他	1,161,853	1,024,088
貸倒引当金	△ 3,124	△ 2,828
固定資産	14,329,694	14,284,783
有形固定資産	11,053,745	11,153,384
建物及び構築物	2,151,857	2,255,481
機械装置及び運搬具	2,118,560	2,074,325
土地	6,473,480	6,501,980
その他	309,846	321,596
無形固定資産	16,462	14,913
投資その他の資産	3,259,487	3,116,486
投資有価証券	2,625,395	2,110,462
その他	712,197	1,085,377
貸倒引当金	△ 78,104	△ 79,354
資産合計	23,516,068	23,450,732

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 平成27年3月31日現在	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在
<b>▶ 負債の部</b>		
流動負債	5,729,717	6,146,305
支払手形及び買掛金	2,806,572	2,856,997
短期借入金	1,047,000	1,540,000
賞与引当金	275,000	278,000
その他	1,601,145	1,471,307
固定負債	5,041,924	6,479,026
長期借入金	1,186,000	2,320,000
再評価に係る繰延税金負債	1,546,838	1,707,038
繰延税金負債	—	6,421
退職給付に係る負債	1,823,613	1,908,990
資産除去債務	16,618	13,411
その他	468,853	523,164
負債合計	10,771,642	12,625,331
<b>▶ 純資産の部</b>		
株主資本	8,139,284	6,810,235
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	4,476,800	2,939,593
自己株式	△ 257,088	△ 48,930
その他の包括利益累計額	3,906,267	3,311,522
その他有価証券評価差額金	703,376	403,422
土地再評価差額金	3,061,930	2,901,730
為替換算調整勘定	276,382	197,439
退職給付に係る調整累計額	△ 135,421	△ 191,069
少数株主持分	698,874	703,642
純資産合計	12,744,426	10,825,400
負債純資産合計	23,516,068	23,450,732

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	20,964,547	20,203,414
売上原価	13,825,854	13,807,634
売上総利益	7,138,692	6,395,779
販売費及び一般管理費	4,549,755	4,201,717
営業利益	2,588,936	2,194,062
営業外収益	180,795	199,710
営業外費用	152,449	162,570
経常利益	2,617,283	2,231,201
特別利益	6,549	54,160
特別損失	25,866	831,968
税金等調整前当期純利益	2,597,966	1,453,393
法人税、住民税及び事業税	949,138	898,342
法人税等調整額	13,546	△ 357,894
法人税等合計	962,684	540,448
少数株主損益調整前当期純利益	1,635,281	912,944
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 65,232	53,987
当期純利益	1,700,513	858,957

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,859,436	2,260,487
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 255,761	△ 423,023
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,050,636	△ 1,458,602
現金及び現金同等物に 係る換算差額	17,439	35,989
現金及び現金同等物の 増減額	△ 429,522	414,851
現金及び現金同等物の 期首残高	3,545,930	3,131,079
現金及び現金同等物の 期末残高	3,116,407	3,545,930

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結決算ハイライト



貸借対照表 (単位：千円)

科目	当事業年度末 平成27年3月31日現在	前事業年度末 平成26年3月31日現在
▶ 資産の部		
流動資産	8,119,737	8,198,543
固定資産	13,537,498	13,409,020
有形固定資産	9,628,909	9,743,666
無形固定資産	16,093	14,544
投資その他の資産	3,892,495	3,650,809
資産合計	21,657,236	21,607,564
▶ 負債の部		
流動負債	5,602,809	6,026,399
固定負債	4,699,595	5,937,332
負債合計	10,302,405	11,963,732
▶ 純資産の部		
株主資本	7,595,589	6,352,401
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,190,882	1,190,882
利益剰余金	4,307,618	2,856,273
自己株式	△ 351,911	△ 143,754
評価・換算差額等	3,759,241	3,291,431
その他有価証券評価差額金	697,310	389,700
土地再評価差額金	3,061,930	2,901,730
純資産合計	11,354,830	9,643,832
負債純資産合計	21,657,236	21,607,564

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (単位：千円)

科目	当事業年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前事業年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	17,947,418	17,475,487
売上原価	11,154,601	11,483,251
売上総利益	6,792,816	5,992,235
販売費及び一般管理費	4,185,822	3,840,405
営業利益	2,606,994	2,151,829
営業外収益	153,121	115,874
営業外費用	146,648	160,493
経常利益	2,613,466	2,107,210
特別利益	6,549	54,160
特別損失	53,866	831,918
税引前当期純利益	2,566,149	1,329,452
法人税、住民税及び事業税	916,244	878,962
法人税等調整額	35,251	△ 357,024
法人税等合計	951,496	521,938
当期純利益	1,614,652	807,514

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Topics 1 *Asloc show room* 平成27年3月オープン。

当社は、本社1階にアスロックのショールームをオープンしました。カタログやホームページの写真でしかご覧頂けないアスロックの実大サンプルを、「見て」「触れて」頂くことで、新たなアスロックの魅力が実感できます。



Topics 2 9年連続No.1

当社は、日経アーキテクチュア2014年11月25日号「採用したい建材・設備メーカーランキング2014の押し出し成形セメント板などの外装材(セメント系、樹脂系など)部門」において、9年連続第1位に選ばれました。



押し出し成形セメント板などの外装材  
(セメント系、樹脂系など)部門

1位

読者を対象に、建材・設備メーカーの  
製品採用意向等アンケート調査  
2014年11月25日号

Topics 3 旧神戸居留地十五番館 往時の姿をカラー写真でHPに公開。

当社が所有する国の重要文化財「旧神戸居留地十五番館」は、明治13年頃に建設され、アメリカ領事館として使用されてきました。阪神淡路大震災により全壊となりましたが、復元工事の際、建築史家である米国人ダラス・フィン氏からアメリカ領事館時代の白黒写真(明治19年撮影)が送られてきました。この度、この写真をカラー化し、往時の姿を蘇らせ、平成27年2月ホームページに公開いたしました。当社は、1989年に国の重要文化財に指定された旧神戸居留地十五番館の保存、活用を通して、地域社会の活性化に貢献してまいります。



■ 会社概要

社名 株式会社ノザワ  
NOZAWA CORPORATION  
創業 明治30年8月17日  
設立 大正2年9月28日  
資本金 24億4,900万円  
従業員数 319名 (連結)  
子会社 株式会社ノザワ商事  
株式会社ノザワトレーディング  
野澤貿易(上海)有限公司  
野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

■ ネットワーク

- 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111 (代)
- 支店・営業所
  - 札幌支店 札幌市中央区大通西1丁目14番2 (桂和大通ビル50)
  - 仙台支店 仙台市青葉区一番町2丁目8番15号 (太陽生命仙台ビル)
  - 東京支店 東京都中央区新富1丁目18番1号 (住友不動産京橋ビル)
  - 名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目4番15号 (ORE錦2丁目ビル)
  - 北陸営業所 金沢市本町1丁目5番1号 (リファール)
  - 関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
  - 広島支店 広島市中区小町3番25号 (三共広島ビル)
  - 松山営業所 松山市大手町2丁目9番地4 (石丸ビル)
  - 九州支店 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 (PR博多ビル)



■ 役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長 野澤 俊也  
専務取締役 佐々木 三七司  
専務取締役 三原 伸夫  
専務取締役 田淵 義章  
常務取締役 坂本 茂紀  
取締役 三浦 竜一  
取締役 肥後 竜也  
取締役 松村 正昭  
取締役 西岡 誠司  
社外取締役 羽尾 良三  
社外取締役 犬賀 一志  
常勤監査役 松吉 永豊  
社外監査役 檀 上 眞逸

■ 株式の状況

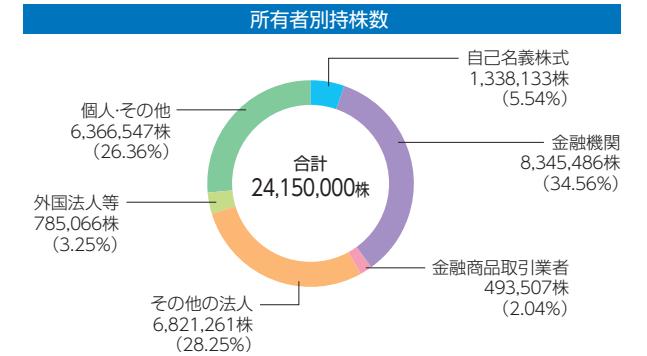
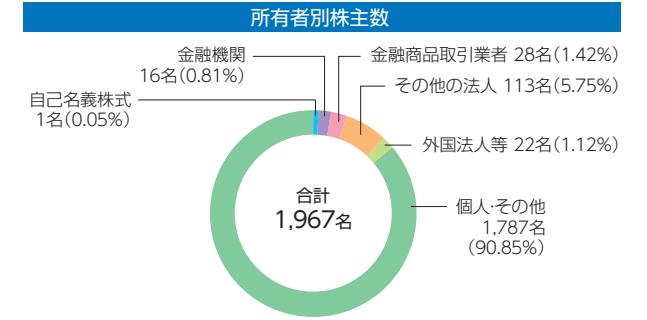
発行可能株式総数 60,000,000株  
発行済株式の総数 24,150,000株  
株主数 1,967名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,401	6.14
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,225	5.37
株式会社三井住友銀行	1,153	5.05
神栄株式会社	973	4.26
日本生命保険相互会社	864	3.79
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.17
CBC株式会社	603	2.64
日工株式会社	568	2.48
ノザワ従業員持株会	552	2.42
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社	525	2.30
株式会社トクヤマ	525	2.30

(注) 持株比率は自己株式(1,338,133株)を控除して計算しております。  
なお、自己株式には、平成26年8月26日、自己株式立会外買付取引により取得した514,000株の自己株式が含まれております。

■ 株式分布状況



ホームページのご案内

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主、投資家の皆様へのタイムリーなIR情報の開示に努め、施工例、新商品情報も随時更新しております。

